令和4年度

決算に関する主要な施策の成果説明書

目 次

			頁
1	総括	••••••	1
2	歳 入		3
3	歳 出		8
4	性質別分類一覧表		26
5	地方債現在高		27

- (注) 1 文中及び表中の数値、比率は表示単位未満を四捨五入している。
 - 2 構成比率は、合計が100.0となるように一部調整した。
 - 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。

「0.0」= 該当数値はあるが、単位未満のもの

「一」 = 該当数値のないもの

1 総括

令和4年度常総地方広域市町村圏事務組合一般会計決算は、収入済額7,064,940,794円、支出済額6,312,811,451円で、翌年度へ繰り越すべき財源は繰越明許費繰越額22,567,000円、実質収支額は729,562,343円となりました。

第1表 歳入決算款別比較表

(単位:円・%)

款	令和4年度 収入済額	収入率	構成比	令和3年度 収入済額	比較	前年度比
1 分担金及び 1 負 担 金	5,731,813,000	100.0	81.1	5,967,614,000	△ 235,801,000	△ 4.0
2 使用料及び 手 数 料	305,667,618	95.5	4.3	315,277,830	△ 9,610,212	△ 3.0
3国庫支出金	62,141,000	99.6	0.9	187,862,291	△ 125,721,291	△ 66.9
4財産収入	2,151,400	100.1	0.0	2,464,400	△ 313,000	Δ 12.7
5繰越金	674,147,603	100.0	9.6	327,961,289	346,186,314	105.6
6諸 収 入	97,420,173	159.4	1.4	71,770,368	25,649,805	35.7
7組 合 債	191,600,000	98.6	2.7	456,200,000	△ 264,600,000	△ 58.0
合 計	7,064,940,794	100.3	100.0	7,329,150,178	△ 264,209,384	△ 3.6

歳入は第1表のとおり、収入済額は7,064,940,794円、収入率100.3%、前年度と比較して264,209,384円、3.6%の減額となりました。主な増減内容は以下のとおりです。

1款 分担金及び負担金

- 繰越金で消防分の繰越見込み増による
- 使用料及び手数料で廃棄物処理手数料の増収見込みによる
- 衛生費で運転管理委託料の減額による
- 土木費で前年度実施の室内温水プール改修事業による減
- + 総務費で関係市からの派遣職員負担金の増額等による増

2款 使用料及び手数料

- 土木使用料で公園施設の使用料が指定管理者の収入となったことによる

3款 国庫支出金

- 土木費で前年度実施の室内温水プール改修事業に係る交付金の減による

4款 財産収入

- 公園内の自動販売機設置に係る敷地貸付料を条例改正に伴い使用料となったことによる減

5款 繰越金

- + 前年度繰越金の増
- + 衛生費の委託料で金属類売却単価の高値推移及び溶融スラグ搬出量の減少などの支出減による
- + 予備費定額計上による増

6款 諸収入

+ 容器包装リサイクル協会に係る拠出金の増による

7款 組合債

- 土木費で前年度実施の室内温水プール改修事業に係る土木債の減による
- 消防費で前年度実施の守谷消防署庁舎及び訓練施設改修事業に係る消防債の減による

第2表 歳出決算款別比較表

(単位:円・%)

	款		令和4年度 支出済額	執行率	構成比	令和3年度 支出済額	比較	前年度比
1 議	会	費	1,279,039	93.6	0.0	777,012	502,027	64.6
2 総	務	費	306,428,564	96.1	4.9	173,625,502	132,803,062	76.5
3 民	生	費	17,833,397	92.1	0.3	19,601,227	△ 1,767,830	△ 9.0
4 衛	生	費	2,032,921,159	91.1	32.2	2,028,309,550	4,611,609	0.2
5 土	木	費	173,487,017	82.1	2.7	589,024,858	△ 415,537,841	△ 70.5
6 消	防	費	2,576,448,289	97.2	40.8	2,669,276,051	△ 92,827,762	△ 3.5
7公	債	費	1,204,413,986	99.9	19.1	1,174,388,375	30,025,611	2.6
8 予	備	費	0	_	_	0	0	-
合	計		6,312,811,451	89.6	100.0	6,655,002,575	△ 342,191,124	△ 5.1

歳出は第2表のとおり、支出済額は6,312,811,451円、執行率89.6%、前年度と比較して342,191,124円、5.1%の減額となりました。主な増減内容は以下のとおりです。

1款 議会費

+ 最終処分場視察研修実施による増

2款 総務費

- + 施設課職員人件費を総務費へ組み替えたことによる増
- + 守谷市からの派遣職員増による
- + ネットワーク整備事業による増
- + 防災センター空調設備改修工事実施による増

3款 民生費

- 前年度実施の介護浴槽購入事業による減
- + 建物・設備劣化度調査実施による増

4款 衛生費

- + 電気料金高騰による光熱水費の増
- 金属類売却単価の高値推移などによる運転管理委託料の減による
- 可燃ごみの外部搬出に伴う溶融スラグ等の処分委託料の減による

5款 土木費

- 前年度実施の室内温水プール改修事業による減
- 施設課職員人件費を総務費へ組み替えたことによる減

6款 消防費

- 前年度実施の守谷消防署庁舎及び訓練施設改修事業による減
- + 救助工作車購入事業実施による増

7款 公倩費

+ 令和2年度借入れのはしご付き消防自動車購入事業債の元金償還開始などによる増

2 歳入

款	決	算	額	主	要	な	施	策	Ø	成	果
1 分担金 及 び 負担金 (決算書P3)	5,731	1,813	,000円	令和4年度 81.1%であり		る関係市	町負担金	念の歳入	全体に占	らめる割合	合は、
'	ı		'	Ī	市町別負	負担金内	訳表			())(1	L 7 m)

(単位:千円)

									T 124 •
区分	常総市	取手市	守谷市	つくばみらい市	龍ケ崎市	牛久市	つくば市 (旧茎崎分)	利根町	合計
議会費	178	298	207	158	_	-	-	-	841
総務費	52,135	91,373	63,290	48,469	2,134	2,354	763	559	261,077
民生費	2,181	1,181	818	909	_	-	-	-	5,089
衛生費	275,889	703,677	458,286	335,490	_	1	1	1	1,773,342
土木費	24,709	62,630	43,295	33,090	_	-	-		163,724
消防費	676,308	1	998,283	806,523	_	-	-		2,481,114
公債費	153,907	380,287	262,883	201,563	4	4	1	1	998,650
予備費	10,176	16,997	11,778	9,025	_	-	-		47,976
合 計	1,195,483	1,256,443	1,838,840	1,435,227	2,138	2,358	764	560	5,731,813
前年度	1,250,917	1,315,951	1,904,395	1,489,613	2,477	2,730	881	650	5,967,614
比 較	△ 55,434	△ 59,508	\triangle 65,555	△ 54,386	△ 339	△ 372	△ 117	△ 90	△ 235,801

関係市町負担金負担割合

j	款	別		負		担	割		合	
議	会	費	均	等	割	10%	人	П	割	90%
	経	常分	均	等	割	10%	人	П	割	90%
総務費	交流セ	ンター分	均	等	割	10%	人	П	割	90%
	防災セ	ンター分	均	等	割	10%	人	П	割	90%
民	生	費	入月	斤者数	汝 割	100%				
衛	生	費	均	等	割	10%	実績	割(処	理量)	90%
土	木	費	均	等	割	10%	人	П	割	90%
消	防	費	均	等	割	10%	人	П	割	60%
1月	(A)	貝	署	員 数	割	30%				
	_	般 分	均	等	割	10%	人	П	割	90%
公債費	防災セ	ンター分	均	等	割	10%	人	П	割	90%
	障害者	皆施設分	入月	斤者数	汝 割	100%				
予	備	費	均	等	割	10%	人	П	割	90%

注)総務費の交流センター分、土木費、消防費、公債費の一般分の人口割の算定基礎となる常総市の人口は旧水海道市分であります。

款	決	算 額	主	要	な	施	策の	成	果
				金算出基础					
				成市町人口			10月1日現	在】	
			区	<u>分</u>	人口(
			常	総 市 水海道市)		8,873			
			取	<u> </u>		,490) 3,610			
			守	- 子 - 巾 谷 市		9,386			
				ばみらいす		1,324			
			小	計		3,193			
			龍	ケ崎市		5,812			
			牛	久 市		4,322			
				くば市	.,.	2,800			
			利	基崎町分 根 町		1,914			
			合	計		1,041			
			②陪:	害者支援加	設入所者	数 【△チ	in9年10日1	口相力】	
			区	分	入所者数	構成比	泊3年10月1]	口児仕』	
			常	総 市	24	42.9%			
			取		13	23.2%			
				谷市	9	16.1%			
			つくに	ばみらい市	10	17.8%			
			合	計	56	100.0%			
	③令和	口2年度常	総環境セン	/ター廃棄物	勿処理状況	」 【単位	立:上段はトン	/、下段カッコ	ュ書きは%】
					Ź	i O	内 i	尺	
	区	分	処理量	資源物	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	生ごみ
		総市	10,443	657	7,923	1,513			49
	(旧水	海道市)	(14.5)	(6.3)	(75.8)				(0.5)
	取	手 市	29,736	1,952					212
			(41.3) 18,669	(6.6) 1,135	(76.5) 13,772	(13.0) 2,544			(0.7)
	守	谷 市	(25.9)	(6.1)	(73.8)	(13.6)			(2.9)
	ヘノバ	みらい市	13,131	813	9,671	2,023			195
	ノハル	~≻のv 1 1	(18.3)	(6.2)	(73.6)	(15.4)			(1.5)
	合	計	71,979 (100.0)	4,557 (6.3)	54,117 (75.2)	9,946 (13.8)			993 (1.4)
	···· 稼	働日数	焼却施設		(10.4)	(13.0)	(3.4)	(0.1)	(1.4)
			資源化施						
				設:(守谷)	257日、(取	手)257日			
			④ 消	肖防署員数	【令和	3年10月1日	月現在】		
			\(\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{	分	署員数	構成比			
			片		7	1 33.3	%		
					7	4 34.8	%		
				ばみらい†	_				
			台	1	21	3 100.0	%		

款	決	算	額	主	三 要 7	is t	拖	策の	瓦		果
2 使 用 料 及 び 手 数 料 ^(決算書P3)	使用	使用料 6,981,470円 収となり が190,6 6,790,8 理者の		円、3.0° 使用 収となり が190,6 6,790,8 理者の	料及び手数料は%の減収となりま料は、6,981,470ました。主な内容の円で、前年度70円で、指定管収入になったことの減収となりました	した。 円で前年 Pは、総 Bと比較し 理者制度 などによ	E度と比り 落使用料 て6,850 変導入に	較して9,325,6 計の県南総合 円、3.5%の洞 伴い有料施記	85円 防災 ⁻ 関収、 なの何	、57.2' センター 土木偵 吏用料	%の減 ー使用* b用料が が指定管
	手数 298,		148円	収となり 量の事態により、 手数料	料収入は、298,6 ました。 衛生手数 業系が74.51トン 前年度と比較しては、取扱件数次 あり、1.7%の増収	数料は29 増加した て327,22 が前年度	6,179,7 一方で、 7円、0.1 と比較し	48円の収入て , 家庭系が125 , %の減収とな	、一 5.08ト りまし	般廃棄 ン減少 <i>、</i> た。ま	€物処理 >したこと :た、消隊
					使 用 料	実 績	一	覧 表			
	【総		<u>用料】</u> (施設名	竺)	有料利用者数	収入	汝 姫	前年度実	結	<u>()</u> (増	<u>は内数</u> 減
		防災	(施設を 炎センタ 義室・和	·_	1,512人 (減免57人) 306件 (減免7件)		7,600円	197,450			,850円
			¥	総務 計		190	0,600円	197,450	円	△ 6,	,850円
	【土		用料】			1		1			
		区分	(施設名	等)	算出根拠 14.400 m²	収入	済 額	前年度実	績	増	減
		牛	ャンプリ	日 勿	14,499㎡ (@ 30円/㎡•月)	5,219	9,640円	0	円	5,219,	,640円
	ドッ	グラン	/・ドック	ブール	3,368㎡ (@ 30円/㎡•月)	1,212	2,480円	0	円	1,212,	,480円
		バー	ベキュ	一場	350㎡ (@ 30円/㎡•月)	120	6,000円	4,800	円	121,	,200円
		自動	販売機	設置	10㎡ (@ 30円/㎡・月)	;	3,600円	628,000	円∠	△ 624 ,	,400円
	旧	屋外	プール	管理棟	49 m² (@ 350円/m²•月)	188	8,650円	0	円	188,	,650円
	3	多目的	力広場駅	主車場	10 m² (@ 100円/m²•月)	(9,000円	0	円	9,	,000円
		電	柱等敷	地	7本 (@ 4,500円/本)	3	1,500円	186,875	円∠	△ 155,	,375円
				小計		6,790	0,870円	819,675	円	5,971,	,195円
			区分	分(施設名	等)	収入	済 額	前年度実	績	増	減
	3	室内温水プール等有			「料施設(※)		0円	15,290,030	円∠	∆ 15,290	0,030円
				小計			0円	15,290,030			
	※ 常 用#	常総道 斗は、	重動公園 令和4 ^年	園有料施 F度より打	設(室内温水プ 指定管理者の収	ール・総 [・] 入となりる	合体育館 ます。	馆・テニスコー	卜• 野	球場等	等)の使
	土木 計				6,790	0,870円	16,109,705	円乙	∆ 9,318	3,835円	
	使用料 総計				計	6,98	1,470円	16,307,155	円∠	△ 9,325	5,685円

款	決 算 額	Ξ	È !	要	な	施		策	の	成	果
			手 数	、 料	・実	績 -		覧 表			
	手 数 料	名	□理量・何	牛数	収入	済 匒	頁	前年度	実 績	増	減
		庭系	1,183.25	5トン	18,7	17,948	円	20,683	3,515円	△ 1,96	5,567円
	手数 廃棄物 事		2,611.3	_		61,800		275,823			8,340円
			3,794.60			79,748	_	296,506	•		7,227円
	消防手数	料	12	28件	2,50	06,400	円	2,463	3,700円	4:	2,700円
3 国 庫 支 出 金 (決算書P5)	62,141,000円 衛生費国庫補助金 1,188,000円 土木費国庫補助金 5,170,000円 消防費国庫補助金 55,783,000円	対す。 公修 改 で が が が が が が が が が が が り に り り り り り り り	廃棄物類 関関係で 業及び ⁵ 5,170,00	型理施 、公園 老朽(100円) 救助	設モニ 駐車場 とした井 でありま 工作車則	タリンク 内で不 水設備 す。 購入 に	ブ事業 下点火 前改修	巻費補助 「となっ [*] 逐事業に	1金1,188 ている場 対する社	8,000円 所への 社会資本	査費用にでありま 照明設備 整備総合 備費補助
4 財産収入 (決算書P5)	2,151,400円									i設におい ありました	ける自動 <u>-</u> 。
5 繰 越 金 (決算書P5)	674,147,603円	25,149で札 減等防負地 減等防負担 は拠歳 変搬で金	,400円での主な内ででは、 の主な内でである。 の主をででいる。 が、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	でありませる。 対し とり とり とり とり とり とり とり の 全	ます。 て、前年! 76円の: 76円の: 気がに等に 数者に 096,182	度会から 増費で価 が り192,1 による り1,949円	金17 のであ 電 で あ で あ で あ で あ れ る 、 で あ れ る く 、 く 、 く 、 く 、 く く く く く く く く く く く	1,784,2 ットボトハ ります。 費ので推 が 50円の減、い	89円増減 いの再席 は料金が あしたこで を出減らき	i品化に うれに。 と及び溶 があります	入の雑入 伴う有償入 よる単価 融スラグ 。また、消 合センター
6 諸 収 入 (決算書P5)	97,420,173円	た。収 元 売 売 地 12,331 14,169 令 令	入の主な 金46,275 (273.1ト 交流セン ,401円の 公園分 分では、 分一派遣	内653 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	は、環境電気 (044円) 分が指が道手でりをでいる (14円) かいまでの (14円) はいまでは、 (14円) がいます。	きまた。 きまたが、 に理し急当から、 に理し急当が、 に理し急当が、 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	マー分 電力が 管理 気・ 、 支弁、 803、	で、容認 売電料で で56,494 者電気・ 上下水道 金1,444 930円、「	器包装以第9,697, 59,697, 5,771円。 上下水 重使用料 1,980円。 防災航空	サイクル 312円、注 の収入が 道使用* ・ ・ ・ ・ ・ いばら ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	き消防指 は職員手当
7 組 合 債 (決算書P7)	191,600,000円 総務債 23,100,000円	(一 _月 交流 ⁻	センター: 投単独・ センター: 投単独・	一般 井水	事業債 5過設備	充当率 設置	275% 事業係	責		ŕ	0,000円 0,000円
	民生債 10,400,000円		者支援施 会福祉施							10,40	0,000円

款	決 算 額	主	要	な	施	策	の	成	果	
	土木債 4 200 000円	土木債 公園駐車場照明設備改修事業債 4,200,000円 (公共事業等債 充当率90%)								
	4,200,000 1	公園井水	設備改修	事業債				1,10	00,000円	
	消防債 153,900,000円		助施設整	備等事		当率90%	%)	118,40	00,000円	
		指揮車購 (一般単	入事業債	(消防2)		14,70	00,000円	
		いばらき消 (緊急防			/ピューター 充当率10		事業債	14,20	00,000円	
		消防本部。(一般単			—		新及び庁		事業債 00,000円	

3 歳出

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
1 議会費 (決算書P11)	1,279,039円 本米沢市の最終な	・定例会 2回開催・臨時会 3回開催・視察 1回開催	組合事務事業に関する決算・予算、条例の制定・改正など慎重に審議し、円滑な議会運営に努めました。 6月の第1回臨時会では、運動公園管理条例の一部改正、監査委員の選任、救助工作車の取得について議決しました。 9月の第2回定例会では、令和3年度一般会計歳入歳出決算、育休及び特殊勤務手当に関する条例の一部改正について議決しました。 12月の第2回臨時会では、職員の給与の条例、地方公務員法一部改正による関連条例の改正について議決しました。 令和5年2月の第1回定例会では、個人情報保護法施行条例の制定、令和5年度一般会計予算について議決しました。 3月の第1回臨時会では、議会の個人情報保護法に関する条例の制定について議決しました。 また、10月に最終処分場の視察(米沢市、水戸市)を実施しました。
2 総務費 (決算書P11)	306,428,564円	 ・広報紙「じょうそう」発行 ・68号(6/26発行) 印刷76,000部 ・69号(11/13発行) 印刷76,000部 支出額 1,428,306円 ・ホームページ管理 支出額 134,860円 	組合事業の最終意思決定機関として、予算、決算、長期事業計画、財源計画、環境センター運転状況及び可燃ごみ搬出状況、みらい平消防署新庁舎建設事業等、各種事業の協議を行いました。 常総市・取手市・つくばみらい市の世帯へは新聞折込、守谷市の世帯へは各区長による配布を行いました。 組合予算、決算の報告、ごみの減量化の協力依頼、運動公園のP-PFIへの導入に伴う新施設の整備、消防の映像通報システム「Live119」利用方法等についてお知らせしました。 組合ホームページ上で、常総環境センターの運転状況や常総運動公園及び地域交流センターの運転状況や常総運動公園及び地域交流センターの管理運営事業、消防の車両更新、実施訓練を発信しました。アクセス件数は、昨年度のリニューアルの際に使い易さの向上のため直接各施設のページにアクセスできるようにしたことから、トップページへのアクセス件数は22,212件で、前年度と比較して約半数と大きく減少しました。
		・修繕料 支出額 190,300円・庁内ネットワーク構築	老朽化した組合事務棟の適正管理及び備品の動作 不良改善のため修繕を行いました。 事務棟プリンター定着器修繕 62,700円 事務棟ブラインド修繕 127,600円 事務の電子化と効率化を推進するため、人事給与、
		(総務負担分)	動休管理、財務会計システムを運用する庁内ネットワークを整備しました。また、ネットワーク構築にかかる費用の一部は令和3年度から繰り越したものです。 【令和3年度繰越明許費】 ネットワークシステム整備委託 6,338,000円

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果

職員研修



感染症対策をし、少人数制(事務棟:20名程度、環 支出額 5,245,084円 境センター:35名程度)で実施しました。受講者数は、 【雑 入】 777,701円 前年度より58名減の669名が受講しました。研修は、階 【一 財】4,467,383円 層別研修10課程、特別研修3課程を実施し、特別研修 に関しては新たにコミュニケーション能力の向上を目的としたアサーティブ・コミュニケーション研修を採用しまし た。各職務における基礎的知識等の習得及び創造力 や職務遂行能力を養いました。

職員共同研修受講状況一覧表

(単位:人)

研修名	対象者	実施日	常総市	取手市	守谷市	つくばならい市		管内一 部事務 組合	合計
新規採用職員課程研修 前期	採用後1年未満職員	4/13~15,4/20~ 22,4/26~28	24	15	17	23	16	1	96
新規採用職員課程研修 後期	前期課程受講職員	9/28~30,10/5~ 7,10/12~14	24	15	16	23	15	1	94
第一部職員課程研修	採用後2年~5年の職 員	10/17~18,10/20~ 21,10/24~25,10/27~ 28	25	18	23	18	12	0	96
第二部職員課程研修	採用後6年〜10年の職 員	$11/7 \sim 8,11/10 \sim 11,$ $11/14 \sim 15,11/17 \sim$ 18	25	19	14	8	19	6	91
第三部職員課程研修	採用後10年以上の非 役付職員	11/21~22, 11/28~29	11	0	4	9	11	0	35
監督者第一部課程研修	新任係長級職員	7/11~12,7/14~15	15	9	10	6	0	8	48
監督者第二部課程研修	係長昇任後3年以上の 職員	7/19~20,7/21~22, 7/28~29	11	20	5	6	8	4	54
新任課長補佐研修	新任課長補佐級職員	5/16~17,5/19~20	0	11	6	6	2	4	29
現任課長補佐研修	課長補佐昇任後3年以 上の職員	7/4~5,7/7~8	4	7	7	12	4	2	36
新任課長研修	新任課長級職員	5/12~13	0	5	4	7	3	3	22
窓口クレーム対応研修	推薦職員	5/26~27	2	4	6	5	5	5	27
アサーティブコミュニ ケーション研修	推薦職員	12/2	2	5	4	4	4	3	22
タイムマネジメント研修	推薦職員	12/6	2	3	4	5	3	2	19
合		計	145	131	120	132	102	39	669
3 4	年 度 実	績	150	230	138	116	68	25	727

決算額 款 事業概要 主要な施策の成果

地域交流センター 「いこいの郷 常総」

【雑 入】12,331,401円

運営

【一 財】32,090,276円 ・指定管理者による管理

開館日数:340日

地域交流センター「いこいの郷 常総」は、オープン から11年目となり、引き続きコロナ禍ではありましたが、 支出額 44,421,677円 行動制限等が無く、利用者数は回復傾向となりました。

> 地域交流センター施設別利用者数一覧表 (単位:人•%)

			(+ <u>4</u> , 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,
施 設 名	4年度 3年度		比較
温浴施設	65,822	59,803	6,019 (10.1)
宿泊施設	7,658	4,704	2,954 (62.8)
健康増進施設	16,039	15,671	368 (2.3)
多目的ホール	2,415	1,007	1,408 (139.8)
地域交流スペース	1,460	834	626 (75.1)
合 計	93,394	82,019	11,375 (13.9)

•修繕料

経年により老朽化したサウナ室内壁面及び座面等木 支出額 4,840,000円 部の修繕を行い、施設の安全と快適な利用環境の提 供に努めました。

交流センターサウナ室修繕

4,840,000円



▲2階サウナ



▲3階サウナ

【総務債】 【一財】

・井水ろ過設備設置事業 │ これまで水風呂には上水を使用していましたが夏場 に水温が上昇してしまうことから年間を通して水温が一 支出額 1,379,400円 定の井水に切り替えるもので、水質改善のためのろ過設備を設置するものです。当初は年度内に設計施工する計画でしたが、施工方法の検討に時間を要したた 379,400円 め、今年度は実施設計のみ行い令和5年度に施工を行 うものです。

実施設計委託料

1,379,400円

•備品購入費

支出額 825,000円

旧白寿荘から引き継いだ調理器具が経年劣化により 修理不能となったため、更新しました。

スチームコンベクション(1台)

825,000円



▲スチームコンベクション

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		【使用料】 190,600円 【雑 入】 6,000円 【総務債】22,100,000円	令和4年10月1日から11月30日まで空調設備改修工事に伴う休館が61日ありましたが、新型コロナウイルス感染症による臨時休館が無くなり、前年度に比べ22日多く開館しました。平常時の団体利用件数は年間306件で前年度より21件減少、個人利用を含めた総利用人数は1,621人で前年度より251人減少しました。
		開館日数:256日 工事に伴う休館:61日間 ・防災シンポジウム	取手市福祉交流センターにて防災シンポジウムを開
		令和5年2月13日開催	戦子市福祉交流とフターにて防灰シンホンリムを開催しました。88名が参加し、つくばみらい市・つくば市・利根町の自主防災組織による活動報告と「コロナ禍における自主防災組織の活動について」をテーマにパネルディスカッションを行い、活発な意見交換がなされ、組織間の情報の共有がなされました。
		·空調設備改修事業 支出額 29,590,000円 【総務債】22,100,000円 【一 財】 7,490,000円	の製造中止により、室内機、室外機等を更新しました。 空調設備改修工事 28,490,000円
▲空調設備	情室内機	•備蓄品整備 支出額 1,327,687円	空調設備改修工事施工監理委託 1,100,000円 備蓄計画に基づく飲料水の備蓄として、消費期限5年の20入ペットボトルを5,628本、500mℓペットボトル7,512本を購入し、4年度末の備蓄量は、20入ペットボトル22,134本、500mℓペットボトル30,120本、計59,3280になりました。
		•修繕料 支出額 1,148,950円	老朽化した防災センターの適正管理及び備蓄品の動作不良改善のため修繕を行いました。 施設修繕 非常用発電機緊急修繕他2件 1,109,900円 備品修繕 備蓄品排水ポンプ修繕 39,050円
		•防災センター高圧ケー ブル及びPAS交換修繕 2,530,000円	自家用電気工作物は設置後20年が経過し、ケーブルの劣化に伴う停電事故等の防止のため交換修繕を行いました。また、本修繕はコロナ禍の影響による納入遅延で令和3年度から繰り越したものです。
			【令和3年度繰越明許費】 防災センター高圧ケーブル及びPAS交換修繕 2,530,000円
		県南総	合防災センター利用実績一覧表
		4年度 3 3年度 3 前年度比 △ ※有料利用件	団体利用 個人利用 人数合計 件数 人数 人数 人数 1,621人 327件 1,652人 220人 1,872人 6.4% △ 8.5% △ 50.5% △ 13.4% 数299件 収入額190,600円 数は、各施設の利用件数の合計とした。
		監査	組合財産全般に関して、その予算執行状況等を監査するため月例出納検査、決算監査を行い、予算が適正に執行されているか分析・評価し、健全な財政運営が図られるよう指導しました。
		<u> </u> -11	<u> </u>

款	決算額	事業概要
3 民生費 (決算書P17)	17,833,397円	障害者支援施設 「常総ふれあいの杜」 支出額 17,833,397円 【民生債】10,400,000円 【一 財】 7,433,397円 ・指定管理者による管理 運営



·入所判定委員会

•担当者会議

•空調設備更新事業 【民生債】10,400,000円した。 【一 財】3,658,000円

障害者支援施設「常総ふれあいの杜」は、住まいの 場と日中活動の場を併せ持つ入所施設で、指定管理 者による運営管理を行っており、入所者の皆様が安心 して快適な入所生活ができるよう努めました。

主要な施策の成果

短期入所利用(定員4名)では、新型コロナウイルス 感染症拡大状況を鑑み、限定的な利用としたことから、 7月に入所予定の方1名が事前に施設に適応するか判 断するために、また、家庭における介護環境の変化に より緊急性の高い1名の方が8月から年度末まで利用し たことで、利用日数は延べ249日でありました。

その一方で生活介護については、利用を停止してし まうと日常生活が困難になってしまう方々も多いことか ら、最小限の利用とすること、また利用前の体調管理等 の感染症対策を徹底することで利用を継続した結果、 入所利用者については延べ14.532名(1日定員56 名)、通所利用者については延べ1,935名(1日定員20 名)の合計延べ16.467名が利用し、自立を目的とした 生活訓練を受けました。なお徹底した感染症対策を実 施してきましたが、令和5年1月3日に施設内入居者及 び職員の感染が初確認され、1月末日までに入所者32 名、職員17名が感染しましたが、嘱託医の迅速な措置 により重症化することなく全員が回復し、2月以降は新 規感染者は発生しておりません。

2月に入所を希望する待機者の入所優先順位の見 直しを図るため入所判定委員会を開催しました。

隔月で担当者会議(5月のみ担当課長及び担当者 会議)を開催し、関係市、指定管理者及び組合と連携 を図りました。

令和2年度に施工した入居棟に引き続き、竣工後15 支出額 14,058,000円 年が経過した、訓練棟、交流棟の空調設備を更新しま

> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による部材供 給遅延及びまん延防止等重点措置に伴う指定管理者 からの中断要請により、令和3年度から事業を繰り越し ました。

監理委託 空調設備更新工事

1,650,000円 12,408,000円



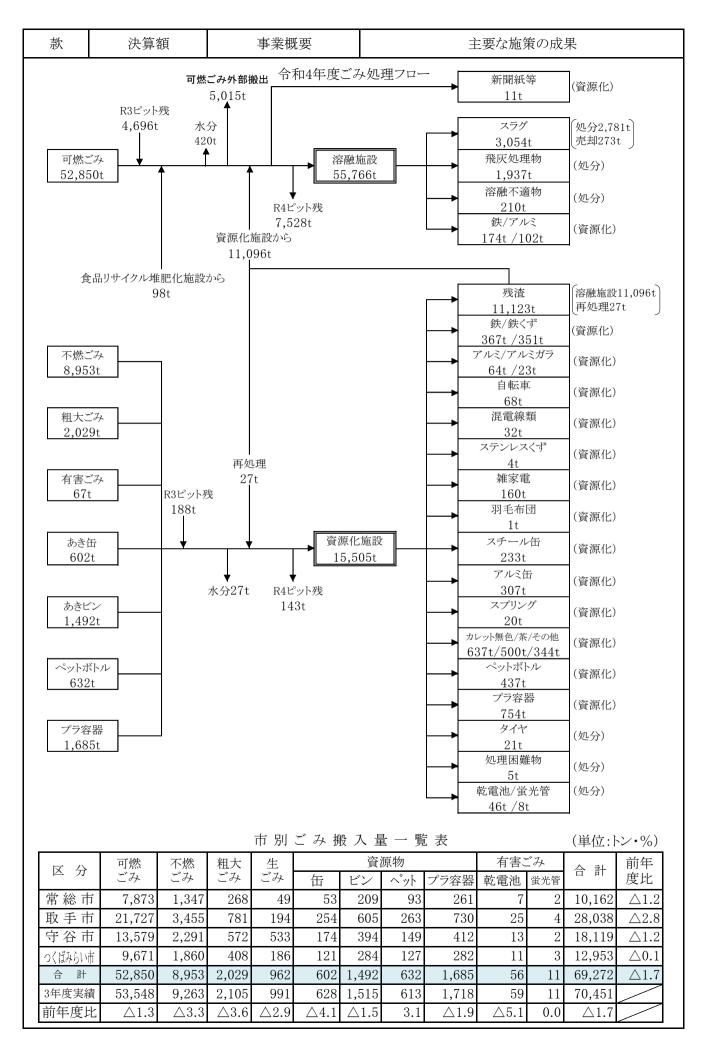


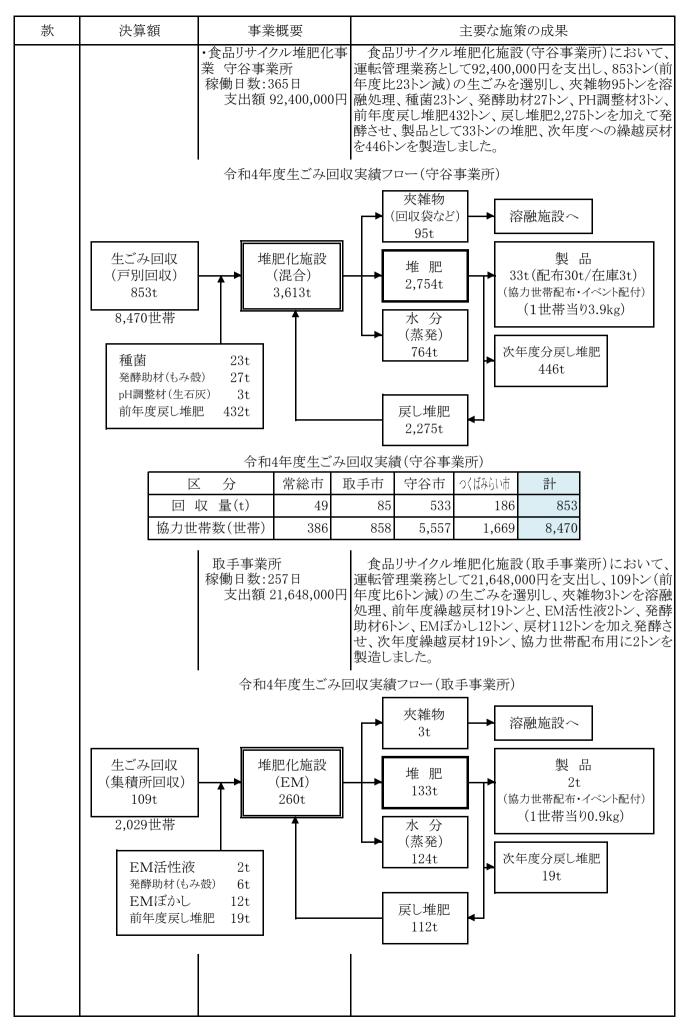
障害者入所状況(令和5年3月現在)

区分	身体障害	知的障害	身体·知的	計
常総市	4人	12人	8人	24人
取 手 市	2人	10人	0人	12人
守谷市	1人	6人	2人	9人
つくばみらい市	1人	9人	1人	11人
計	8人	37人	11人	56人

※入所待機者は34名

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
4 衛生費 (決算書P19)	2,032,921,159円	支出額 2,031,130,064円	関係市からの搬入ごみ69,272トン(前年度比△1,179トン、1.7%減)を適正に処理しました。 可燃ごみ 52,850トン (△698トン、1.3%減) 不燃ごみ 8,953トン (△310トン、3.3%減) 粗大ごみ 2,029トン (△76トン、3.6%減) 生ごみ 962トン (△29トン、2.9%減) 資源物(缶) 602トン (△26トン、4.1%減) 資源物(と) 1,492トン (△23トン、1.5%減) 資源物(ペットボトル) 632トン (19トン、3.1%増) 資源物(プラ容器) 1,685トン (△3トン、5.1%減) 有害ごみ(乾電池) 56トン (△3トン、5.1%減) 有害ごみ(蛍光管) 11トン (同量)
		ごみ処理施設運営事業溶融施設稼働日数:359日資源化施設稼働日数:255日支出額 1,321,252,416円	溶融施設では55,766トンを溶融処理し、鉄174トン、アルミ102トンを回収しました。可然ごみから新聞紙等を分別し、11トンを資源物として搬出しました。また、廃棄物の溶融スラグ3,054tのうち273tをコンクリート・アスファルト骨材として売却しました。資源化施設では15,505トンを処理し、鉄類367トン、鉄くず351トン、アルミ類64t、アルミガラ23トン、自転車68トン、混電線類32トン、ステンレスくず4トン、雑家電160トン、羽毛布団1トン、スチール缶類233トン、アルミ缶類307トン、スプリング20トン、無色カレット637トン、茶色カレット500トンを資源物として搬出しました。また、その他色のカレット344トン、ペットボトル437トン、プラ容器754トンを容器包装リサイクル協会を通して資源化するとともに、タイヤ21トン、処理困難物(瓦礫)5トン、乾電池46トン、蛍光管8トンを搬出処分しました。委託料では、当初契約額の16億5千万円から可燃ごみの外部搬出処理費用として247,667,000甲を予算流用減額し1,402,333,000円となり、さらに基準額と比較して資源物売払額の増により支払額が減のため、81,080,584円減額し支出額1,321,252,416円となりました。





支出額 137,833,698円 成方に最終処分場がないため、合和年度は6箇所に、 202,727,811ト、規定処理物,9371トン、溶酸不適物210 1とを处分しました。	款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
支出額 3,369,928円 水銀の100%リサイクルを行いました。 - 発質光管板由処理処分 支出額 714,781円 (グラスラク) 製容器包装) - 支出額 714,781円 (グラステク) 製容器包装) - 支出額 439,813円 (グラステク) 製容器包装) - 大田都 439,813円 (グラステクタ) 製容器包装) - 大田都 6,100,710円 - 支出額 247,666,214円 - 大田都 247,666,214円 - 大田本 247,667 - 大田本 247,667 - 大田本				スラグ2,781トン、飛灰処理物1,937トン、溶融不適物210
東出額 1,245,695円 ・再商品化委託 (その他色ガラス) 支出額 714,781円 (プラステッグ数容勢型数) 支出額 439,813円 (プラステッグ数容勢型数) 支出額 439,813円 たったお、ベットボトルは437トと増出しました。 プラステック製容を設数 支出額 439,813円 たったお、ベットボトルは437トと増出しました。 環境センターの周辺公舎、生ごみから設定した堆肥した35トンの1%負担とたる事所品化費用を支出しました。 環境センターの周辺公舎、生ごみから設定した堆肥の方が表託 支出額 6,100,710円 変活験について分析を1ました。いずれも基準値を満常験について分析を1ました。いずれも基準値を満常数が分析 を託 支出額 247,666,214円 (環境センターの用金) (環境センターの用金) (環境センターの用金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (環境センターの担金) (現境センターの担金) (現境センターの担金) (国内・海に対したのです。 (本の事件を指しました。です。 (本の事件を対しました。です。 (本の事件を対しました。です。 (本の事件を対しました。) (大の本の事件を対しました。) (株) (大の本の事件を対しました。) (株) (大の主の事件を対しました。) (株) (本の本の事件を対しました。) (株) (本の本の事件を対しました。) (株) (本のよの主の事件を対しました。) (株) (本のよの主の事件を対しました。) (株) (本のよの主の事件を対しました。) (株) (本のよの主の事件を対しました。) (本のまの事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の事件を対しました。) (本のよの主の主の事件を対しました。) (本のよの主の主の主の主の主の事件を対しました。) (本のよの主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の主の				
(その他色ガラス) 要報 714,781円 (プラスチック製容器包装) フタータリンの8%食用止たる百幣店出で製用を支上に関出した344。シの8%食用上たる百幣店出で製用を支出しました。 27ラスチック製容器包装 27ラステック製容器包装 27ラステックの 27ラステックを発達しませた。 27ラステックを発送しませた。 27ラステックを発送していまり、安全性を確認とように関連に対していまり、27ラステックを発送していまり、27ラステックを開始に対していまり、27ラステックの 27ラストン 27ラストン 27ラストン 27ラストン 27ラステムを選用するため、人事終りの上を図るため、環境センター施設見学を実施しました。 27ラストン 27ラステムを選用するため、人事終り成していまり、27ラストン 27ラストン				
支出額 6,100,710円			(その他色ガラス) 支出額 714,781円 (プラスチック製容器包装)	プラスチック製容器包装再商品化委託として搬出した755トンの1%負担となる再商品化費用を支出しまし
下に伴い、可燃ごみを外部に搬出して処理・処分する 必要が生じたため、ごみ処理施設運営管理委託から 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 247,666,71円を予算流用し執行したものです。 15,015.15トン 事務の電子化と効率化を推進するため、人事給与、 動体管理、財務会計システムを運用する庁内ネットワークを整備しました。また、また、また、かの一部は合和3年度納り越したものです。 【合和3年度繰越明許費】 ネットワークンスを整備委託 の一部は合和3年度から繰り越したものです。 【合和3年度繰越明許費】 ネットワークンスを整備委託 の一部は合和3年度から繰り越したものです。 【合和3年度繰越明許費】 ネットワークンスを上継の表記を表記を表記しました。総見学者数は2,389人で前年度より707人、42%増となりました。財産した。財産したの一般関体の見学は乙を持入(6件)、圏域内自治会等の一般関体の見学は70人(6件)、圏域内自治会等者が9人(2件)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。 ・常総環境センター検討表が9人(2件)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。 ・常総環境センター検討表が9人(2件)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥水施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥水施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥水施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。また、たい肥水・経過を発生がありませ、第1分の10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)でした。これに関域内は10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)でした。これに対域内は10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、小学生4名)では、10人(大人6名、10人(大ん6名、10人(10人(大人6名、10人(10人(10人(10人(10人(10人(10人(10人(10人(10人(質試験について分析をしました。いずれも基準値を満たしており、安全性を確認しました。 周辺公害分析 5,225,000円 堆肥分析 536,250円 食品リサイクル堆肥化施設臭気測定 99,000円
(環境センター負担分) 816,716円 816,716			委託	下に伴い、可燃ごみを外部に搬出して処理・処分する 必要が生じたため、ごみ処理施設運営管理委託から 247,667千円を予算流用し執行したものです。 処理施設 処理量 (株)ナリコー 4,222.73トン さしま環境管理事務組合 580.88トン 龍ケ崎塵芥処理組合 211.54トン
上を図るため、環境センター施設見学を実施しました。 総見学者数は2,389人で前年度より707人、42%増となりました。内訳は 圏域内小学校4年生による校外学習及び中高生見学が2,310人(45件)、圏域内自治会等の一般団体の見学は70人(6件)、圏域外官公庁関係者が9人(2件)でした。また、たい肥化施設の見学者は10人(大人6名、小学生4名)でした。 ・常総環境センター検討委員会及び実行委員支出額 509,900円・教賀市民間最終処分場抜本対策事業費用負担支出額 601,000円放射能対策事業支出額 1,791,095円 放射能対策事業支出額 1,791,095円 では 601,000円を担意した。 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、ごみ焼却施設の焼却飛灰に高濃度の放射性物質が検出され、8,000ベクレルを超えるものは、国の管理下の指定廃棄物となったことから、最終処分場に埋め立てすることができなくなり、常総環境センターでは			(環境センター負担分)	クを整備しました。また、ネットワーク構築にかかる費用の一部は令和3年度から繰り越したものです。 【令和3年度繰越明許費】
委員会及び実行委員 支出額 509,900円 ・敦賀市民間最終処分場 抜本対策事業費用負担 支出額 601,000円 放射能対策事業 支出額 1,791,095円 では 1,791,095円			•施設見学者案内	ごみ処理施設の状況及びごみ問題に対する意識向上を図るため、環境センター施設見学を実施しました。総見学者数は2,389人で前年度より707人、42%増となりました。内訳は 圏域内小学校4年生による校外学習及び中高生見学が2,310人(45件)、圏域内自治会等の一般団体の見学は70人(6件)、圏域外官公庁関係者が9人(2件)でした。また、たい肥化施設の見学者は
抜本対策事業費用負担 業に係る組合分の事務管理費用を負担しました。 支出額 601,000円 放射能対策事業 支出額 1,791,095円 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、ごみ焼却施設の焼却飛灰に高濃度の放射性物質が検出され、8,000ベクレルを超えるものは、国の管理下の指定廃棄物となったことから、最終処分場に埋め立てすることができなくなり、常総環境センターでは			委員会及び実行委員	員会4回中2回実施、実行委員会9回実施)
支出額 1,791,095円 により、ごみ焼却施設の焼却飛灰に高濃度の放射性物質が検出され、8,000ベクレルを超えるものは、国の管理下の指定廃棄物となったことから、最終処分場に埋め立てすることができなくなり、常総環境センターでは			抜本対策事業費用負担	業に係る組合分の事務管理費用を負担しました。
				質が検出され、8,000ベクレルを超えるものは、国の管理下の指定廃棄物となったことから、最終処分場に埋め立てすることができなくなり、常総環境センターでは

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
5 土木費 (決算書P25)	, , , , , ,	運動公園管理 ・開場日数:316日 室内温水プール:300日	令和4年度より常総運動公園の管理運営は打理者(共同事業体)に移行し、地域交流センター的に管理運営することで両施設の効率的・効果的



指定管 -も一体 的に管理運営することで両施設の効率的・効果的な運 営が行えるようになりました。

加えてP-PFI施設(キャンプ場、ドッグパーク及び バーベキュー場)が7月から共用開始となり県外からの 利用者も増加、常総運動公園の認知度アップに貢献し ております。

令和4年度の総利用者数は、室内温水プールの再 開や(令和3年度は大規模改修工事により5月中から年 度末まで休場)、スポーツ教室の開催により、173,353 人、前年度比較で61,574人増(55.1%)となりました。

また、P-PFI施設では13,300人と犬6,213頭の利用が ありました。







▲キャンプ場

▲ドッグラン

▲バーベキュー場

• 点検整備委託料 支出額 3.135,000円

点検整備委託

自動制御装置

3,135,000円

コロナ禍の影響により機器の納入遅延で令和3年度 から繰り越した業務を完了しました。

【令和3年度繰越明許費】

自動制御装置点検整備委託

3,135,000円

599,999円

489,500円

418,000円

43,450円

•修繕料

施設修繕 1,550,949円

経年により老朽化した各施設の修繕を行い、利用者 支出額 1,581,749円 の安全とサービス向上を図りました。

> スポーツセンターアリーナ屋根雨漏修繕 井水受水槽水道メーター交換修繕 スポーツセンター防火シャッター修繕

導電率・pHモニター装置修繕

備品修繕 30,800円

エンジンブロア修繕

各種大会及び会議運営

圏域内中学校及び高校の大会を開催し、地域ス ポーツの振興と交流を図りました。

- •5月 高校野球大会
- •8月 中学校野球大会
- ・11月 中学校サッカー大会・ソフトテニス大会

また、公園施設利用の調整等のため会議を開催しま した。

- •4月 連絡協議会、野球審判部理事会
- •11月 施設利用調整会議

•公園駐車場照明設備改 修事業

【交付金】 3,795,000円 設置しました。 【土木債】 3,100,000円 【一財】 695,000円

園内南側駐車場の照明が不点灯となっていることか ら、利用者の安全・安心のため、既設照明更新7箇所、 支出額 7,590,000円 新規設置1箇所の計8箇所及び駐輪場にLED照明を

公園駐車場照明設備改修工事

7,590,000円







▲LED照明

▲園内南側駐車場

▲駐輪場

•井水設備改修事業

【土木債】 1,100,000円 た。 【一財】 275,000円

園内給水設備は、全体的な老朽化が著しく、長寿命 化計画に則り改修するにあたり、水質管理や設備維持 支出額 2,750,000円 管理に係るランニングコスト縮減を目的に既設井水設 【交付金】 1,375,000円 備を上水設備に更新するため、実施設計を行いまし

実施設計委託料

2,750,000円



•備品整備事業

一財

施設を安心して利用できるよう、自動体外除細動器 支出額 554,100円 (AED) 2台と消火器6本を更新しました。なお、消火器 554,100円は、コロナ禍の影響による納入遅延で令和3年度からの 繰越事業です。

自動体外式除細動器(2台)

330,000円

【令和3年度繰越明許費】

消火器(6本) 224,100円

【繰越明許費繰越額】

解体を予定していたレストハウスについて、リノベー 27,567,000円 ションを含めた検討により、年度内の特定公園施設整 備が困難となったため繰り越したものです。

> 【令和4年度繰越明許費繰越額】 特定公園施設整備事業に係る負担金

> > 27,567,000円

	大	会	等	<u> </u>	覧	表	(単位:人)
大会	会名				実加	 色日	参加人数

大会名	実施日	参加人数
第42回常総広域圏高等学校硬式野球大会	5/25, 5/26, 6/1	210
第45回常総広域圏中学校対抗球技大会	野球の部(8/17, 8/19~21) サッカーの部(11/5, 6) ソフトテニスの部(11/19)	736
合計(大会参加者は市別利用	946	

市別利用者数

(単位:人)

区分	野球場	テニスコート	陸上競技場	自由広場	体育館	温水プール	その他	合計
常総市	282	1,252	868	2,978	1,373	2,135	298	9,186
取手市	1,782	3,921	3,100	5,843	2,845	2,119	263	19,873
守谷市	2,878	13,972	4,159	11,219	22,121	35,453	2,533	92,335
つくばみらい市	518	3,232	1,021	4,214	1,182	8,208	133	18,508
圏域外	2,276	1,494	2,347	10,027	3,158	8,486	469	28,257
合計	7,736	23,871	11,495	34,281	30,679	56,401	3,696	168,159
3年度実績	4,683	20,336	6,116	31,473	21,905	8,442	8,188	101,143
前年度比	65.2	17.4	87.9	8.9	40.1	568.1	△ 54.9	66.3

※その他とは、令和3年度実績は多目的広場・ゲートボール場・会議室の利用者、令和4年度実 績では会議室・園路及び駐車場等の共用施設の利用者である。

款	決算額		事業概要			主要な施策の成果					
					自主事業	自主事業による利用者数					
		野球場	テニスコート	陸上競技場	自由広場	体育館	温水プール	その他	(単位:人) 合計		
		55	50	471	3,051	464	424	679	5,194		
						P-PFI施設利用者数					
					施	 設名		利用区			
				_				人	大		
						ンプ場		4,819人	491頭		
				-		ドッグプー キュー場		6,525人	5,722頭		
						計		1,956人 13,300人	6 212商		
						1 1 1	J	13,300/	6,213頭		

款	決算額	事業概要	É		:	
6 消防費 (決算書P25)	2,576,448,289円	消防·救急·救助業務 消防総務費 支出額 2,331,069,846円	新型型が流したのででは、	室キットを購入して 一ビスの事等財子と 一ビスの事等・財子と 一ビスの事・財子を 一ビスの事・財子を 一で、・身店等の 一で、・身店等の 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を	、おときないでは、これでは、これでは、一次ないでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	抗業引火危病対 対修ま 消きまり原務が災険院象 応をし 防るな高検継り水物、と す実。 に幹知度
		消防職員262名 人件費 支出額 2,112,049,646円	消防費の主たる経 2,112,049,646円で			
消防約	組織図			階級別職員数		
消	防本部 (52名)			職名	人数	
	 水海道消防署	北出張	長所 (15名)	消防正監	1	
-		(39名)		消防監	5	
_				消防司令長 消 防 司 令	11 50	
	守谷消防署		出張所 (24名)	消防司令補	55	
	つくばみらい消防署	(41名) 谷和原出	出張所 (14名)	消防士長	42	
		東部出	張所 (15名)	消防副士長	45	
,	I	I STORES	1	消防士	53	
				合 計	262	
		職員採用	消防職員14名を持 持に努めました。	采用し、適正な消	防組織体質	制の維
		【警防業務】 ·火災活動状況	火災出動が54件 別では、建物火災か			
		•救急活動状況	救急出動が7,240 た。救急種別では、 す。			
		•救助活動状況	救助出動は135件 救助種別では、建物 す。			
		• 救命講習会	新型コロナウイルス 会は中止となりました 生法・AEDの取扱い め、76回実施し486	たが、普通救命講 などの応急手当注	習会は、位法の普及原	心肺蘇

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		【予防業務】 ·予防査察	火災予防を図るため防火対象物・危険物施設への 立入検査を行い、不備欠陥事項の是正及び防火管理 体制の指導を行いました。
			検査実施防火対象物数 812事業所 検査実施危険物施設数 170事業所
		•消防用設備設置	各種消防用設備等の設置指導及び完成検査を行い ました。
			消防用設備完成検査済証 交付件数 248件
		•危険物施設許認可事務	危険物施設の設置及び変更許可申請施設について 許可及び完成検査を実施しました。
			設置許可件数 57件 (設置8件·変更49件)
		North-suid-le	完成検査数 51件 (設置7件・変更49件)
		•消防訓練等	消防法に基づく消防訓練等が各事業所において757 回実施され、延べ42,751人が参加しました。なお、提出 された報告書により適正に訓練が実施されていることを 確認しました。実施された消防訓練等のうち、幼少年防 火クラブ等の訓練は50回実施され、消防職員が立会 い、防火・防災意識の高揚を図り、火災・災害時の対処 法の周知に努めました。
		•防火管理者資格取得 講習会	消防法第8条に定める防火対象物の関係者に対しての甲種防火管理新規講習は3回開催し、延べ89人が受講しました。また、再講習は2回開催し、延べ32人が受講しました。
		•火災予防広報	春秋の火災予防週間に合わせた各種広報活動や各市で実施される文化祭行事及び防火フェスティバル等において火災予防広報を実施しました。また、小学5年生を対象とした火災予防ポスターの募集を実施し、火災予防意識向上に努めました。なお、茨城県火災予防ポスターコンクールに13名を推薦し、5名が入選しました。
		•消防署見学	小学生を中心とした社会見学の一環として、消防署見学・職場体験を受入れ、1,414人が各署所を訪れ、出動訓練や消防車両見学及び消防資機材の取扱い体験などを通し、消防業務に対する理解を深めることに寄与しました。
		【総務業務】 ・消防学校等入校 支出額 10,076,305円	多種多様な災害に対応し、高度な救命・救助技術、知識を習得するため、救急救命士養成、消防大学校、県立消防学校等、14課程44名の消防職員を入校させ、知識・技術の向上を図りました。
		•普通教育 支出額 784,780円	茨城県及び消防長会等が主催する各種講習会、日本救急医療財団が開催する研修会に職員を参加させ知識、技術習得に努めました。

款	決算額	事業概要	主要な施策の成果
		【消防債】 14,200,000円	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会は、構成団体21消防本部(つくば市消防本部は消防救急無線の運営のみ)により運用されており、当消防本部からは、事務局員として1名、指令センター係員として3名の計4名の職員を派遣しました。
			いばらき消防指令センター負担金 総務費負担金 1,949,000円 無線費負担金 21,400,000円 指令センター費負担金 13,278,000円 コンピューター関係更新費負担金 14,223,000円 【消防債】 14,200,000円 【一 財】 23,000円
		・庁内ネットワーク構築 (消防負担分) 9,493,315円	事務の電子化と効率化を推進するため、人事給与、 勤休管理、財務会計システムを運用する庁内ネットワークを整備しました。また、ネットワーク構築にかかる費用の一部は令和3年度から繰り越したものです。
			【令和3年度繰越明許費】 ネットワークシステム整備委託 7,550,000円
		•備品購入 30,773,384円	カラーホースを導入し、署所ごとにホースの色分けを したことにより、各隊の活動状況の把握が容易になりま した。また、撤収作業においても時間の短縮が図られ 身体的負担も軽減されました。
	水海道消防署	北出張所	得西出張所 守谷消防署
	19-44-UN-UNITAR	南守谷出張所 つくは	はみらい消防署 東部出張所
		消防施設費 支出額 245,378,443円	
		·施設修繕 支出額 14,712,074円	備品、庁舎施設、車両等の維持管理については、備品修繕で潜水器具等の修繕に1,312,367円、庁舎修繕でつくばみらい消防署東部出張所食堂空調設備等の修繕に8,448,110円、車両修繕で水海道消防署搬送2号車エンジンシステム緊急修繕等の修繕に4,951,597円を支出しました。
		・消防本部及び水海道消防署庁舎改修工事設計事業 支出額 8,822,000円 【消防債】 6,600,000円 【一財】 2,222,000円	工事を行うために設計を実施しました。また、個別空調化、照明のLED化、給湯器の更新等も実施し光熱費の経費削減を図ります。

款	決算額	事業概要			主要な施り	乗の成果	
		・車両購入事業 (救助工作車) 支出額 184,800,000円 【補助金】55,783,000円 【消防債】118,400,000円 【一 財】 10,617,000円	れ、令和 ました。				512月に配備さ 5、車両更新し
		(指揮車) 支出額 17,553,556円 【消防債】14,700,000円 【一 財】 2,853,556円	和4年度 シワゴン 鳴時には 照明やあ あったた	には8年だ 車タイプで は無線交付 赤色灯も少 め車両更	が経過する で外部の音 言等に苦慮 かなく安全性 新しましし	車両でした が軽減され していまし 生と利便性に	」ず、サイレン吹 た。また、外部 こ欠ける状況で ∃指揮車は谷和
		(司令車) 支出額 4,565,000円					2備され、令和4 新しました。
	414 4 4 4 4			二作車購 <i>力</i> 谷消防署			184,800,000円
			指揮車		,		17,553,556円
		OSSESSMEN	司令車				4,565,000円
		指揮車 司令車		DSO SUPE	表 R R E S C U E	*Kr	救助工作車
		火 災 火 災 区 分 建物	林野	車両	件 その他	数合計	(単位:件) 前年度比
		常総市 7	0	1	15	23	1
		守谷市 7	0	4	7	18	2
		つくばみらい市 7 合計 21	0	9	24	13 54	△ 3 0
		3年度実績 26	0	7	21	54	
		※その他とは、河川敷・	♥休耕地·	道路傍等	の枯れ草	火災である。	

±/ ₂	VH.	1 公 安古		- 士-	₩ HIII 1000					1.4×44-645	Д Н		_
款	<i>₩</i>	· 算額		争;	業概要				土发	な施策	の成未		
			救	急		出	動	件	数		(肖	单位:件)	
区	分	火災	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計	前年 度比	
水海道	消防署	2	81	8	2	130	6	9	651	105	994	97	
北出	張所	2	31	8	2	50	3	5	375	10	486	85	
絹西出	張所	3	43	13	4	73	2	2	267	40	447	20	
守谷淮	的署	12	109	18	12	217	2	13	1,081	180	1,644	182	
南守谷	出張所	3	66	6	9	179	4	11	910	76	1,264	210	
つくばみら	い消防署	9	83	7	3	150	2	11	713	50	1,028	109	
谷和原	出張所	2	57	5	9	102	3	6	597	35	816	175	
東部出	張所	1	39	11	2	72	3	4	400	29	561	121	
合	計	34	509	76	43	973	25	61	4,994	525	7,240	999	
3年度	実績	47	465	63	20	904	26	79	4,178	459	6,241		

※その他とは、自然災害・水難・病院間搬送・泥酔者等である。

救 助 出 動 件 数 (単位:件)

区分	火災	交通 事故	風水 害等	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠	水難	破裂	その他	合計	前年 度比
件 数	23	37	1	1	41	3	4	0	25	135	△ 26
3年度実績	28	31	0	1	42	5	3	0	51	161	

※その他とは、非火災等である。

消防学校等入校関係一覧

	課 程	内 容	期間	人員
消防大		消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部職員 たるに相応しい人材を養成する。	R4.8.29~10.7	1名
学		救助業務に関する高度の知識及び技術 を専門的に習得させ、教育指導者等とし ての資質を向上させる。	R5.3.2~3.15	1名
	初任科(前期)	新規採用消防職員の教育	R4.4.7~9.8	8名
	初任科(後期)	II	R4.10.18~R5.3.16	6名
	救 助 科	救助業務従事者養成	R4.9.12~10.14	3名
	危 険 物 科	危険物業務従事者養成	R4.9.26~9.30	1名
		警防業務従事者養成	R4.10.25~11.15	1名
防学	火 災 調 査 科	火災調査業務従事者養成	R4.12.5~12.16	2名
校	救 急 科 (前 期)	救急業務従事者養成	R4.10.11~12.1	3名
	救 急 科 (後 期)	IJ	R5.1.11~3.2	8名
	特殊災害科	特殊災害現場での指揮担当者の教育	R5.1.23~1.31	2名
	操法指導者研修会	消防ポンプ操法の指導者教育	R4.5.19 • 5.20	4名
	水 難 救 助 課 程	水難救助業務従事者養成	R4.7.20~8.2	1名
東研修京所	救 急 救 命 士 新規養成課程(前期)	救急救命士養成	R4.4.6~10.4	2名
	指 導 救 命 士 養 成 研 修	指導救命士養成	R4.7.12~8.24	1名

款	決算額	事	 業概要				主要な施第	 策の成果	
			消防	署	見	学	者一	覧	
			区分		件 (化	数 生)	見学者数 (人)	前年度比 (人)	
			水海道消	 方署	(1	13	437	221	
		,	守谷消防	i署		11	449	199	
			つくばみらい	消防署		12	528	△ 388	
			合 i	計		36	1,414	32	
			3年度実	績		29	1,382		
			消阝	方職 員	(資)	格 取	: 得 状 況		
			資格名	人	数		資格	8名	人数
		危険物」			1	,		操縦士新2級	31
		扱者免	大 乙種4類 防火査9	· + -	136		酸素欠乏 危険作業	·硫化水素 養主任者	39
			専門員		30			学理者	2
		予防技行			14			線技士	242
		資格者	新 専門員 危険物				-	ーン特別教育 質作業主任者	59 38
			専門員		9			低・高・特高)	7
		-						大士	71 52
							拟总统	效命士	52
7 公債費 (決算書P33)	1,204,413,986円	総務 厚生支 東東支 市支 和 消防	页出額 7,318円 〔60,105,236円	元利管元利・30元利温元利・30元利・30元利・30元利・30元利・30元利・30元利・30元利・30	子者を子処金子く金子・金子を子を子を子がる。	記・封 施設・ 2 施設 90 4 フル・ラ 2 指 16	7,318F 也域交流セ、 5,445,792F 4,659,444F ・生ごみ堆居 8,867,562F 5,946,498F ニスコート 3,971,658F 884,262F	9 ソター) 9 明化施設) 9 ・給排水設備・ 9 ・無線・防災情報	

(単位:千円・%)

区	分	議会費	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	公債費	合 計	構成
	<i>J</i> J	哦云貝	心 分 貝	八工页	用 工 頂	上 小 浿	11 的 复	五 頂 頂	П П	比
1 人	件費	615	151,279	414	57,858	165	2,093,924		2,304,255	36.5
	義員·委員等報酬	615	535	20	450				1,620	
(2) 特	寺別職の 洽 与		250						250	
(3) 耶	職 員 給		114,517	394	40,607	165	1,620,044		1,775,727	
(4) 3	その他		35,977		16,801		473,880		526,658	
2 物	件費	650	71,247	3,549	1,963,923	158,252	181,029		2,378,650	37.7
3維持	補修費		4,968		502	1,551	12,088		19,109	0.3
4 扶	助費		320		240		18,125		18,685	0.3
5 補 郥	助費等	14	35,600	206	10,398	3,345	52,805		102,368	1.6
文	国・県に 対するも D				918		1,781		2,699	
	司級団体 こ対する ₀ の	14	42	1	8		200		265	
文	その他に 対するも の		35,558	205	9,472	3,345	50,824		99,404	
6 普 道	通 建 設 業 費		1,379	14,058	0	10,340	259,554		285,331	4.5
(1) 補	甫 助 事業費					10,340	111,568		121,908	
(2) 置	单 独		1,379	14,058			147,986		163,423	
<u> </u>	- <u>業</u>									
7 公	債 費							1,204,414	1,204,414	19.1
歳出	出合計	1,279	264,793	18,227	2,032,921	173,653	2,617,525	1,204,414	6,312,812	100.0

[※]性質別の区分は、地方財政状況調査に基づいています。

5 地方債現在高

			la feb dat	利率	償還	償還	令和3度末	決算年度		令和4年度末
	区 分	借 年月日	起 債 額 (千円)	(年間)	年数	終了 年度	現在高	起債額	元金償還額	現 在 高
		十 77 1	(111)	(%)	(年)	年度)	(円)	四 (円)	(円)	(円)
総務	計		38,800				15,700,000	23,100,000	0	38,800,000
	防災センター耐火塗装改修	R3.3.30	13,300	0.04	10	R12	13,300,000		0	13,300,000
	防災センター空調設備改修	R4.5.24	2,400	0.1	15	R18	2,400,000		0	2,400,000
	防災センター空調設備改修	R5.5.30	22,100	0.615	15	R19		22,100,000		22,100,000
	交流センター井水ろ過設備設置	R5.5.30	1,000	0.615	15	R19		1,000,000		1,000,000
民生	計		823,700				490,126,000	10,400,000	55,445,792	445,080,208
	福祉センター建設(実施設計)	H22.4.26	22,400	1.803	15	R6	5,606,000		1,866,000	3,740,000
	福祉センター建設	H23.3.24	182,200	1.3	20	R12	96,390,000		10,710,000	85,680,000
	福祉センター建設	H24.3.26	518,900	1.	20	R13	305,200,000		30,520,000	274,680,000
	福祉センター建設	H25.3.25	19,300	0.8	20	R14	12,430,000		1,130,000	11,300,000
	介護浴槽	R3.3.30	5,200	0.197	6	R8	5,200,000		1,040,000	4,160,000
	障害者施設空調設備更新	R3.3.30	37,900	0.197	6	R8	37,900,000		7,580,000	30,320,000
	障害者施設空調設備更新	R3.3.30	13,000	0.004	6	R8	13,000,000		2,599,792	10,400,208
	介護浴槽	R4.4.28	8,300	0.3	6	R9	8,300,000		0	8,300,000
	障害者施設空調設備更新	R4.4.28	6,100	0.5	15	R18	6,100,000		0	6,100,000
	障害者施設空調設備更新	R4.9.30	10,400	0.6	15	R19		10,400,000		10,400,000
衛生	計		12,762,500				4,148,123,204	0	908,867,562	3,239,255,642
	生ごみ堆肥化施設建設	H20.4.21	222,700	1.653	15	R4	18,558,000		18,558,000	0
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設)	H21.4.24	12,700	1.5	15	R5	2,277,914		1,130,447	1,147,467
	ごみ処理施設建設 (リサイクル施設)	H21.4.24	6,500	1.5	15	R5	1,165,862		578,576	587,286
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設)	H22.4.26	201,500	1.4	15	R6	53,580,274		17,611,509	35,968,765
	ごみ処理施設建設 (リサイクル施設)	H22.4.26	103,800	1.4	15	R6	27,601,153		9,072,330	18,528,823
	ごみ処理施設建設 (ごみ焼却施設) ごみ処理施設建設	H23.4.25	3,386,400	1.3	15	R7	1,187,786,560		291,200,089	896,586,471
	(リサイクル施設)	H23.4.25	821,000	1.3	15	R7	287,967,390		70,598,652	217,368,738
	ごみ処理施設建設	H24.4.24	5,605,600	1.1	15	R8	2,425,639,736		474,543,177	
	ごみ処理施設建設	H24.10.26	2,402,300	0.9	15	R9	143,546,315		25,574,782	117,971,533
土木	計		499,000				409,302,110	4,200,000	23,971,658	389,530,452
	テニスコート改修	H25.3.25	21,700	0.8	20	R14	13,970,000		1,270,000	12,700,000
	公園給排水整備	H26.3.31	3,800		15	R10	1,897,000		271,000	1,626,000
	公園給排水整備	H27.3.31	30,900	0.5	15	R11	17,656,000		2,207,000	15,449,000
	公園給排水整備	H28.3.31	57,400	0.1	15	R12	36,900,000		4,100,000	32,800,000
	自由広場人工芝生化	H28.3.31	27,900	0.1	15	R12	17,928,000		1,992,000	15,936,000
	自由広場人工芝生化	H29.3.27	10,100	0.01	10	R8	5,611,110		1,122,222	4,488,888
	自由広場人工芝生化	H29.3.31	9,700	0.4	10	R8	5,380,000		1,076,000	4,304,000
	公園給排水整備 自由広場人工芝生化	H29.5.24	60,000	0.1	15	R13	50,000,000		5,000,000	45,000,000
	公園アリーナ改修	H30.3.31	55,800	0.1	15	R14	43,835,000		3,985,000	39,850,000
	公園駐車場入口改修(実施設計)	H31.3.29	1,500	0.03	15	R15	1,284,000		107,000	1,177,000
	公園駐車場入口改修	R1.9.30	16,200	0.004	15	R16	15,041,000		1,157,000	13,884,000
	室内温水プール改修	R3.3.31	4,700	0.2	15	R17	4,700,000		345,000	4,355,000
	自由広場照明設備改修	R3.3.31	14,200	0.2	15	R17	14,200,000		1,018,000	13,182,000
	室内温水プール改修	R3.5.26	4,500	0.2	15	R17	4,500,000		321,436	4,178,564
	室内温水プール改修 駐車場照明改修	R4.4.26	147,300	0.3	15	R18	147,300,000		0	147,300,000
	室内温水プール改修	R4.4.28	6,500	0.5	15	R18	6,500,000		0	6,500,000
	室内温水プール改修	R4.5.24	22,600	0.1	15	R18	22,600,000		0	22,600,000
	公園駐車場照明設備改修 井水設備改修	R5.4.26	4,200	0.5	15	R19		4,200,000		4,200,000

	/II. →	47 /4 42	利率	償還	償還	令和3度末	決算年度		令和4年度末
区 分	借 入 年月日	起 債 額 (千円)	(年間)	年数	終了 年度	現在高	起債額	元金償還額	現在高
1	177 17	(111)	(%)	(年)	(年度)	(円)	(円)	(円)	(円)
計		1,336,800				989,670,484	153,900,000	163,626,329	979,944,155
消防救急無線共同整備		1,700	0.4	10	R4	215,484		215,484	C
消防救急無線共同整備及 同指令センター整備 茨城県防災情報ネットワー ステム整備	H28 3 24	130,000	0.1	7	R4	26,000,000		26,000,000	C
高規格救急自動車 (守谷消防署)	H28.3.31	19,700	0.2	7	R4	3,940,000		3,940,000	(
高規格救急自動車 (守谷署、東部所·一般財源		19,600	0.2	7	R4	3,920,000		3,920,000	C
水槽付消防ポンプ自動 (谷和原出張所)	П29.3.24	14,500	0.1	7	R5	5,800,000		2,900,000	2,900,000
水槽付消防ポンプ自動 (谷和原出張所)	^車 H29.3.24	26,200	0.1	7	R5	10,480,000		5,240,000	5,240,000
高規格救急自動車(つくばみらい署・一般財源化	(公分) H30.3.26	10,500	0.1	7	R6	6,300,000		2,100,000	4,200,000
高規格救急自動車 (つくばいらい署)	H30.3.26	21,300	0.1	7	R6	12,780,000		4,260,000	8,520,000
災害支援自動車(守谷署) H30.3.26	12,600	0.1	7	R6	7,560,000		2,520,000	5,040,000
高規格救急自動車 (南守谷出張所、谷和原出張	所) H31.3.25	25,100	0.1	7	R7	20,080,000		5,020,000	15,060,000
高規格救急自動車(南守谷出張所、谷和原出張	所) H31.3.25	17,000	0.1	7	R7	13,600,000		3,400,000	10,200,000
消防庁舎耐震補強(北出	張所) H31.3.25	19,200	0.1	10	R10	16,800,000		2,400,000	14,400,000
消防庁舎アスベスト除去 (北出張所)	H31.3.25	8,000	0.1	10	R10	7,000,000		1,000,000	6,000,000
高規格救急自動車 (南守谷出張所、谷和原出張	所) H31.3.29	3,700	0.03	7	R7	2,464,000		616,000	1,848,000
消防庁舎耐震補強(北出		4,800	0.03	7	R7	3,731,000		533,000	3,198,000
水槽付消防ポンプ自動 (絹西・北出張所)	R2.3.24	62,100	0.1	7	R8	62,100,000		12,420,000	49,680,000
水槽付消防ポンプ自動 (絹西・北出張所)	車 R2.3.24	4,500	0.1	7	R8	4,500,000		900,000	3,600,000
消防ポンプ自動車(守名		9,900	0.1	7	R8	9,900,000		1,980,000	7,920,000
消防ポンプ自動車(守名	F¥) R2.3.24	18,800	0.1	7	R8	18,800,000		3,760,000	15,040,000
高規格救急自動車(絹西出張所)	R2.3.24	10,600	0.1	7	R8	10,600,000		2,120,000	8,480,00
高規格救急自動車 (絹西出張所)	R2.3.24	17,000		7	R8	17,000,000		3,400,000	13,600,000
消防本部非常電源更新		95,200		15	R17	95,200,000		3,615,975	91,584,02
水海道消防署改修	R2.9.30	· · · · · ·		15	R17	20,200,000		1,454,000	18,746,00
はしご付消防自動車(守水槽付消防ポンプ自動		71,800 24,400	0.1	7	R9 R9	71,800,000 24,400,000		12,000,000 4.100,000	59,800,000 20,300,000
(東部出張所) 水槽付消防ポンプ自動	击	28,000		7	R9	28,000,000		4,700,000	23,300,000
(東部出張所)	K3.3.24	·							
高規格救急自動車(水海高規格救急自動車(水海		10,800 20,200	0.1	7	R9 R9	10,800,000		1,800,000 3,400,000	9,000,000
いばらき消防指令センタ		33,400		7	R9	33,400,000		5,600,000	27,800,000
ンピューター関係更新 守谷消防署改修(実施記		6,800		15	R17	6,800,000		0	6,800,00
はしご付消防自動車(守		100,400		5	R7	100,400,000		25,098,870	75,301,130
はしご付消防自動車(守		46,900	0.189	5	R7	46,900,000		11,728,000	35,172,000
守谷消防署コンプレッサ 及び車庫改修		5,000		10	R12	5,000,000		560,000	4,440,000
守谷消防署コンプレッサ 及び車庫改修	一室 R3.9.30	11,100	0.229	7	R10	11,100,000		925,000	10,175,00
化学消防ポンプ自動車 (水海道署)	R4.3.24	19,000	0.1	7	R10	19,000,000		0	19,000,000
化学消防ポンプ自動車 (水海道署)	R4.3.24	32,800	0.1	7	R10	32,800,000		0	32,800,000
輸送バス	R4.3.24	11,300	0.1	7	R10	11,300,000		0	11,300,000
いばらき消防指令センタ ンピューター関係更新		48,300		5	R8	48,300,000		0	48,300,000
守谷消防署庁舎及び訓 設改修	練施 R4.5.24	140,500	0.1	10	R13	140,500,000		0	140,500,000

		分	借 年月日	起債額(千円)	利 率 (年間) (%)	償還 年数 (年)	償還 終年度 (年度)	令和3度末 現 在 高 (円)	決算年度中増減高		令和4年度末
	区								起 債 額 (円)	元金償還額 (円)	現 在 高 (円)
	救助工作自	動車(守谷署)	R5.3.24	45,900	0.1	7	R11		45,900,000		45,900,000
	救助工作自	動車(守谷署)	R5.3.24	72,500	0.1	7	R11		72,500,000		72,500,000
	指揮車購入	事業(本部)	R5.3.24	14,700	0.1	7	R11		14,700,000		14,700,000
	いばらき消じ ンピューター	方指令センターコ ・関係更新	R5.3.23	14,200	0.2	5	R9		14,200,000		14,200,000
	消防救急無対同指令セン	線共同整備及び ノター整備	R5.5.24	6,600	0.1	7	R11		6,600,000		6,600,000
	合	計		15,460,800	·			6,052,921,798	191,600,000	1,151,911,341	5,092,610,457